

唐松林のキラキラが観たい!

唐松尾根～大菩薩嶺～丸川峠

実施日 2018年11月23日(金・祝)
 天候 晴れ
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、渡邊悦子、佐藤聡美、徳山敬子 計10名
 費用 JR2,116円(高尾起算) 乗車券1,300円
 タイム 甲斐大和(8:02-8:10)上日川峠(8:51-9:12)福ちゃん荘(9:37-9:42)雷岩(10:58-11:13)大菩薩嶺(11:10-11:51昼食)丸川峠(12:56)丸川荘(13:01-13:11)大菩薩嶺登山口(14:46~15:00)塩山駅(15:30)
 行動 5h34m 歩行 4h18m

上日川峠でバスを降りると、標高が高いため、じっとしていると風が冷たいので、早々に歩き始める。



ゆるやかな登りの道を進み、福ちゃん荘で筈タイムの後、大菩薩峠へと周回するルートとの分岐から、

左手の唐松尾根に入る。

残念ながら、周辺の紅葉は終わっており、キャッチフレーズの唐松林のキラキラは観られないが、葉が落ちた唐松の間から見える空はピーカンで、左手には雪を頂いた南アルプスも見える。

最初はゆるやかだが、途中から急坂になる。気温は零度を下回り、霜柱が、日向は解けてぬかるんで



滑りやすく歩きづらい。

ひたすら登ると背後に大菩薩湖(上日川ダム)、雪をかぶった富士と雲海が臨める。今まで見たことのないほど美しい富士だ。



最後の急登を登ると雷岩に着く。

しばし絶景を楽しんだ後、風が冷たいので北へ10分程の山頂へ行き、早めの昼食にする。

大菩薩嶺から丸川峠までの下りは比較的ゆるやかだ



が、丸川峠からは延々と急で単調な下りが続く。



大きな岩がゴロゴロ、落ち葉も積もって、木の根が隠れて見えず、滑りやすい。裂石を通り、急

な下りが終わってホッとして休みたいところだが、3時のバスに乗り遅れると次のバスまで1時間ちょっと待たなくてはいけないので、大急ぎでバス停に向かい、バスの来る時間の15分くらい前に到着。

今日の山は、登るというより下りが長い山だったが富士山と南アルプスの眺望は素晴らしかった。

参加して下さった皆さん、ありがとうございます。また、よろしくお願ひします。

(記・白石恵美子)

(写真提供・涌井良明/石原勝正)